



いしかわ労福協

第 562 号 2014年11月26日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 狩山 久弥
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

働く人たちの福祉向上のため、 来年度の政策・制度などを自治体首長に要請



谷本石川県知事

石川県労働者福祉協議会は、各自治体担当者への事前説明を済ませた10月27日(月)に野々市市以南の6市町、29日(水)から30日(木)にかけて津幡町以北の12市町の各自治体首長を、狩山久弥理事長を先頭に浅野正専務理事、山口隆北陸労働金庫石川県副本部長らに加え、関係自治体の協力会議議員と地元地域ライフ・サポートセンター代表者が同行して訪ね「働く人たちの福祉の向上に向けた来年度の政策・制度等に関する要請」を行った。

首長は、公務多忙の中にも関わらず、当労福協等が要請する事項について真摯に受け止める対応がされた。

首長からは、「働く人はもとより、全ての住民が安心して暮らせる環境作り、自治体に取り組んでいる施策・サービスなど、福祉の向上などにおいて協力し合えるところは、連携することも視野に入れていきたい。」などとした意見交換がされた要請活動となった。

さらに、11月11日(火)には山野之義金沢市長を、また、26日(水)には谷本正憲石川県知事を訪ね要請した。



杉本中能登町長

狩山理事長は、「公益性の高い事業として、福祉な

んでも相談などのほか、この間6回開催してきた婚活事業においても2組が成婚に至る成果



山野金沢市長

が現れ、労働者だけでなく少しは社会貢献できたようだ。さらに労働者をはじめ市民・県民が、より安心して暮らせる社会づくりに向けて、労福協とライフ・サポートセンターが連携して活動を展開していきたい。また、来年4月1日から開始される生活困窮者自立支援制度により、生活保護に至る前に一日も早い自立に向けた支援を実施されたい。無戸籍者や高齢単身者の支援についても、状況把握はもとより一日も早い対応をお願いしたい。」と述べ、労福協と各会員団体の要請の概要を浅野専務理事が説明し、来年度に向けた政策制度面での要請の実現を強く求めた。



和田小松市長



山辺羽咋市長



粟野々市市長

労福協第5回理事会



労福協は、11月5日(水)フレンドパーク石川において第5回理事会を開催した。

理事会には、理事監事15名が出席し、これまでの取り組みとして、ライフ・サポートセンターや子育て支援ネットによる活動、2015年度自治体要請行動、中部労福協研究集会、勤文協第64回石川県勤美展などの取り組み状況を報告。さら

に、中央労福協第46次海外労働者福祉視察団報告として、参加した宮下亮労信協理事長が「北米における協同組合の取り組みについて視察してきた。後日、報告書を持って報告する。」と話し了承された。

また、本年度中間決算報告及び同監査報告、福祉なんでも相談の取り組み強化、ライフ・サポートセンター活性化委員会中間報告、第11回ライフ・サポートセンター研修会開催、第14次蘇州市総工会業務考察訪日団の招聘、白山市仕事と生活が調和する優良事業所選考委員就任案などが全議案とも提案どおり承認した。

石川県大衆運動家合祀追悼会

石川労福協、連合石川などで取り組む石川県大衆運動活動家顕彰会実行委員会は、11月23日(日・祝)に金沢・卯辰山の顕彰碑前において、政治、労働、文化のそれぞれの分野において平和、民主主義の発展、教育・福祉・環境等の向上に尽力し故人となられた4名の方を合祀追悼した。

顕彰碑前には遺族関係者や実行委員ら40数名が列席し、顕彰会会長の狩山久弥氏(石川労福協理事長、連合石川会長)が「合祀される方々の偉大な大衆運動の功績を称え、感謝申し上げる。」との挨拶に続き、浅野正石川労福協専務理事が顕彰会設立趣意書を朗読。事務局から今回合祀する4名の方を紹介し、名前を記したプレートを顕彰碑に納め参列者が献花した。

金沢市西念のフレンドパーク石川に会場を変え

て行った感謝の集いでは、今回合祀される方の在りし日の思い出などが関係者



大衆運動家顕彰会

から多く語られ、故人を偲びつつ運動の継承の重要性を噛みしめる追悼会となった。

合祀者

- 武林 郁哉さん 享年 94
石川製作所労働組合執行委員長
- 尾崎 豊吉さん 享年 64
全自交石川ハイタク連合会書記長
- 藤井 肇さん 享年 80
石川県議会議員
- 井端 利男さん 享年 73
全国一般石川地方本部執行委員長

これからの行事予定

(11月26日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
11月26日	水	労福協 自治体要請 石川県知事要請	石川県庁
27日	木	白山市仕事と生活が調和する優良事業所表彰式	白山市役所
28日	金	中央労福協 第6回加盟団体代表者会議	東京都内
〃	〃	連合石川 第26回定期大会	労済会館
〃	〃	食みどり水 NW 全国集会 (～29日)	東京都内
12月2日	火	勤文協 会報編集会議	フレンドパーク石川
〃	〃	石川県社会法律センター総会	北陸会館
5日	金	第45回石川県消費者大会	地場産振興センター
〃	〃	福祉なんでも相談アドバイザー会議	フレンドパーク石川
9日	火	北陸3県連合・労福協・北陸労金連絡会議	金沢都ホテル
〃	〃	中部ブロック会館協 第2回幹事会 (～10日)	富山市
10日	水	労信協 第6回理事会	フレンドパーク石川
16日	火	第11回ライフ・サポートセンター研修会 (～17日)	七尾市
19日	金	労福協 第6回理事会	フレンドパーク石川
20日	土	さわやかU 餅つきボランティア	向陽園
22日	月	第3回ライフ・サポートセンター活性化委員会	フレンドパーク石川
27日	土	年末年始休暇 (～1月4日)	
1月6日	火	連合石川・石川労福協合同「2015新春の集い」	金沢都ホテル

友宣団体 蘇州市総工会 第14次業務考察団が来日



参集された皆さんと

石川労福協は、1986年来の友好関係にある蘇州市総工会の第14次業務考察団を招聘し、11月17日(月)から21日(金)の日程で張鈺中副秘書長を代表とする4名の来日を受入れた。

11月17日(月)午後1時前に小松空港に到着し、出迎えた狩山久弥理事長、浅野正専務理事らと共に金沢市内に入った。

はじめに、姉妹都市公園を訪ね、金沢市と姉妹都市である蘇州市の公園を模した公園を散策し、その後館内のスタッフの熱烈歓迎を受けてフレンドパーク石川に到着した。



姉妹都市公園にて

会館2階ホールにおいて、労福協事業団体との意見交換会、労働者文化交流会を行った。

意見交換会は、連合石川、北陸労働金庫石川県本部、全労済石川県本部、石川労信協、石川生協連、石川勤体協、石川勤文協、さわやかUの各団体代表者等が出席した。



意見交換会



労働者文化交流会

はじめに浅野専務理事から各団体の概要を説明した後、代表団から「労働金庫は、運営資金をどのように確保しているのか。さわやかUの事業は、有料か無料か、またどのように運営しているのか。」の質問に、労

金は、「労働組合の出資金や労働者等の預金を原資に事業展開している。」。さわやかUは、「実費燃料代程度の御代をいただくだけでのボランティアとして実施している。」と回答。

その後、連合石川会長でもある狩山理事長が、「非正規雇用が労働者全体の4割に達し、多くの労働者は不安定な雇用状態で働いている。また、年収200万円以下となるワーキングプアも25%となる労働実態であるが、現政権は、貧困層を解消する政策をとっておらず、アベノミクスは投資家や金持ちのための財政政策で、雇用拡大や安定に



張団長と団員の皆さん。左から張鈺中氏、唐揮氏、朱磊氏、項曉平氏

繋がっていない。雇用の質を高めるためには、派遣労働者を少なくする、もしくは雇用を拡大することが必要である。そのためにも最低賃金の引き上げなど、底上げが必要。アベノミクスという経済政策により非正規雇用者は5%増加、500万人を超える結果となった。」と労働者の雇用環境などが報告された。

約10年ぶりに行う文化交流会は、氷田清風、杉村雄二郎の勤文協両顧問を迎えて行い、両顧問は、蘇州市総工会の労働者が作成した書、画を、また、勤労者文化協会の勤美展作品を見て、双方とも作品のレベルは高いと講評した。

歓迎レセプションでは、狩山理事長が、「昨年、蘇州市総工会を訪問した折の熱烈歓迎に感謝する。石川県、日本の文化や芸術などに触れることで日本を十分に感じていって



狩山理事長



鮫谷石川県商工労働部次長



八田金沢市経済局長



上田北陸労金理事長



宮下労信協理事長

もらいたい。」と歓迎の挨拶をした。続いて、張団長が、「初めての金沢市訪問にも関わらず、相互の交流の深さから初めて



記念品（獅子頭）の贈呈

の気がしないほど親しみある状況で迎えられ感激している。特に姉妹都市公園に行った時は、異国の地ではなく親戚にきたような感覚であった。」と労福協及び取り巻く団体のフレンドリーさを強調する挨拶をした。

さらに、石川県から飴谷義博商工労働部次長、金沢市から八田誠経済局長がそれぞれから訪日を歓迎する挨拶があった後、相互の交流をさらに深めあった。

歓迎会では、上田弘志北陸労働金庫理事長が労働者福祉事業団体を代表して「これからも相互の関係を深め、日中の友好交流を深化するべく関係を強化したい。」と挨拶したほか、昨年13次訪中団での体験・感想などを宮下亮労信協理事長が披露し挨拶した。

また、歓迎を祝い、盛本芳久県議と金沢大学和楽器奏者「竹糸会」の7名が琴、三味線、尺八による「越後獅子」を演奏し、演奏はもとより和楽器や紋付袴の着物姿にも訪日団が大変感激した様子で、歓談が進み参加者一同が友誼を深め終了した。



北陸労金石川県本部にて



全労済石川県本部にて



兼六園

滞在二日目の11月18日(火)は、北陸労働金庫石川県本部、全労済石川県本部を表敬訪問し、各団体代表等の歓迎を受け交流を図った。

また、石川県を訪ね田中新太郎商工労働部長が、「蘇州市のある江蘇省と石川県は40年の交流を続けてお

り、石川県から10社の企業が進出し文化面、経済面で相互に発展している。これからも相互の交流を深め県民、日本との親交を深めるため互いに努力されたい。」と歓迎した後、張団長が、

「それぞれの交流経過は長く、相互の土台はできている。これからは、さらにこれを深めていくことが我々の課題であり、ともに努力していきたい。」と感謝を述べた。

さらに、蘇州市の姉妹都市である金沢市の山野之義市長を表敬し、「双方には古い街並みがあり、それぞれに“らしさ”を持っているが、その“らしさ”には共通点が多い。ぜひ金沢の文化に触れ、感じ、金沢を謳歌してほしい。双方の関係がさらに深まることを期待している。」と歓迎し、張団長が、「30周年を記念し植樹をした樹も大きくなり、相互の関係の深さと同じ成長を表している。私たちも昨日到着し、初めて金沢に来たにも関わらず、異国の地に来た感じがしない。それぞれの交流を続けることが大切である。」と返礼した。

視察では、ポリテクセンター石川を訪問し、井上所長等の対応により、「施設は、在職者、求職者の双方に対



田中石川県商工労働部長表敬



山野金沢市長表敬



ポリテクセンター石川の訓練施設内しモノづくりの観点から訓練をしている。ここは、国の事業として、ポリテクセンター石川が業務を行っている。同種の施設は、全国に60か所あり、年間約3万人が受講している。求職者は約6か月の訓練を、在職者には2日から5日の短期間の訓練を提供している。」と施設を紹介されたのち、訓練施設内を見学し、実際の訓練を見ながら訓練レベルの高さを確認した。

張団長は、「就労は生活の根本であり、安定した生活に欠かせないことである。蘇州市の就労率は高いが、訓練のレベルはまだ低く見習う点が多い。」と挨拶した。

質疑では、「年間の運営資金の質問に対し、約1億円、求職者は無料だが、在職者は有料である。なお、求職者で訓練受講者は訓練終了後約8割が就労している。技術の進歩への対応の質問に対し、指導員は定期的な研修でレベルアップに努めている。研修先として大学などがある。」とのやり取りがされた。



友禅工房にて絵付け体験

文化体験では、加賀友禅の鶴見染飾工芸を訪ね、鶴見晋史氏から説明を受けた後、ハンカチへの絵付けに加え、体験した場所や日付、名前を手馴れた筆使いで書き入れ、初めてとは思えない作品を作ったほか、染飾に使用した糊を洗い流す洗い場(友禅流し)も見学した。

その後、金沢城公園、兼六園、金沢21世紀美術館を順に見学し、金沢の歴史や文化に触れることができた。

三日目の11月19日(水)は、東京の中央労福協(労働者福祉中央協議会)を訪問し、山本幸司副会長等か



中央労福協での意見交換を終えて

ら、中央労福協が行う労働者福祉向上への基本姿勢や貧困対策など現在の取り組みが紹介された。一方で、中央労福協から、中国における労働組合や労働者福祉について質問があり、張団長等は「従業員25名以上の企業は労働組合を組織する義務があり、多くの企業で組織されているが、労働組合が有る無しでは大いに福利の面でも違いがある。」と回答した。

東京都内見学では、車中からお台場のフジテレビ社屋や東京タワーを見学したほか、皇居外苑、浅草寺を散策した。浅草寺仲見世通りでは、

焼きたての人形焼を頬張り、「甘くて美味しい」と感激し、両国国技館の相撲博物館において相撲の一端を感じてもらった。さらに、東京スカイツリーでは最近の東京土産として有名な東京ばななを摘み、夕焼けに染まる富士山を地上450mの天望回廊から見て、刻々と色を変える山並みに暫し見とれていた。

四日目の11月20日(木)は、山手線を利用して東京駅に行き、東海道新幹線で京都に移動。生憎の曇り空で富士山を観ることができなかった。

京都に着いてから、薬局で目薬とリップクリームなどを買い込み土産の購入はほぼ終了、南座近くの蕎麦屋で鯨そばを食



金閣寺にて

し、紅葉真っ盛りの清水寺、金閣寺をじっくりと堪能した頃にはとっぷりと日が暮れて、滋賀県にある中部ブロック会館協議会メンバーのホテル「Riseville 都賀山」で宿泊した。

最終日の11月21日(金)は、昨日見られなかった琵琶湖を大津サービスエリアの展望室から、まだ朝靄が残るなか望んだあと、伏見稲荷神社に詣でて千本鳥居などを見学した後、屋台のたこ焼き、通り筋にある煎餅屋で煎餅を買い食いし、これも美味いと絶賛。最終目的地のあべのハルカスでは、地上300mから大阪市内を展望。大阪城を小さく見てから、一路、関西国際空港へ移動した。

搭乗手続きを終えた後、遅めの昼食をラーメン屋で済ませてから、互いに感謝と友情を確かめ、再会を約束して見送った。



浅草寺雷門



東京スカイツリー

河北 LSC

・津幡ござっさい祭り



河北地域ライフ・サポートセンターは津幡町勤労者協議会と連携し、10月26日(日)津幡町の俱利伽羅塾で開催された『ござっさい祭り』に参加し物品販売を行った。

今年の物販は、勤労協会員の家庭菜園で作った野菜や、コープ石川から仕入れた食料品、果物を販売し、主催者側からの要請により午後2時頃まで販売し成功裏に終了することができた。

・バス研修旅行

11月8日(土)恒例の秋季史跡めぐり(小松編)を参加者33名で開催した。

“河北郡市をもっと知ろう”と始められた研修旅行で、今年は「小松編」として開催した。

ガイドはお馴染みの桑江朝英氏が担当し、先ず最初に住吉神社で御祓いを受け「安宅関」⇒「芦城公園」⇒「小松曳山交流館」を廻り「一川」で昼食とした。「曳山交流館」では今年使った曳山が2台展



示されており、大変美しく興味を引いた。

午後からは、旧小松製作所の跡地にある「こまつのだ」を見学し、実際南米チリで活躍した「ダンプトラック 930E」の大きさに驚かされ、運転席に試乗し記念撮影をする参加者も見られた。その後、最大の見所の「那谷寺および庭園」を訪ね、今頃の紅葉を堪能し帰路に着いた。帰りのバスの中では昨年に引き続き桑江はるみ氏による「昔話」と「紙芝居」を独特な優しい口調での語りかけを聞きながら、来年の再会を約束し楽しい一日を締めくくった。

・第1回河北ライフ・チャリティーゴルフ大会

河北LSCは、11月12日(水)津幡町の石川ゴルフにおいて第1回河北ライフ・チャリティーゴルフ大会を14名の参加で開催した。初めての開催で参加者集めに苦労したが、何とか開催にこぎつけた。

当日は時期的に天候を心配したが、辛うじて無事終了した。

成績はダブルペリア方式を採用したため、誰が優勝をするか分からなかったが、唯一女性参加者の山崎静子さんが優勝した。

尚、チャリティー募金9,800円は、後日、かほく市社会福祉協議会に贈った。

優勝：山崎静子(NET71.8)

準優勝：安江善郎(NET72.6)

三位：綿 征一(NET72.8)

河北LSC 事務局 吉川武久



勤 体 協

第48回県勤労者秋季体育大会

《第17回グラウンドゴルフ大会》

10月26日・かほく市高松グラウンドゴルフ場

- ▷男子①赤とんぼ②白尾ウイナーズクラブ③三七会A(以上かほく)
- ▷女子①今も姉ちゃん(かほく)②花・華・鼻(かほく)③志賀レディス(志賀)

《第14回勤労者クライミング大会》

11月2日・金沢市医王山S C

- ◇一般(45歳以下)
 - ▷男子①畠中実②船橋裕巳③柴田将義
 - ▷女子①田中弥生②西田里美③漆原彩
- ◇シルバー(45~59歳)
 - ▷男子①本谷賢門②塚本吉弘
 - ▷女子①若林千恵②畠中郁美③東出直美
- ◇ゴールド(60歳以上)
 - ▷男子①中島昭二②山本永夫③林昭男
- ◇オープンI
 - ▷男子①折田昊斗②神志那駿之介③伊藤裕成
 - ▷女子①河村柚香②本谷佳乃子③橋本みつぎ

《卓球大会》

11月16日・七尾市中島体育館

- ◇硬式
 - ▷男子①S—55A②おいかわクラブ③ぬかクラブ、コマツ
 - ▷女子①フェリス小松②NOTOヤンキース③档の会、Moment
- ◇ラージ
 - ▷男子①白山クラブ②内灘クラブA③のとさりしま、ななおクラブ
 - ▷女子①内灘クラブ②ななおクラブ③のとさりしま、京華クラブ

《第45回県勤労者ボウリング選手権》

11月23日・ジャンボホール

- ◇団体
 - ▷1部①金沢JクラブC②金沢ホープB③TeamD.H
 - ▷2部①倉友クラブA②倉友クラブD③オデッセイ
- ◇個人
 - ▷1部①東秀雄(金沢ホープA)②堂前秀雄(TeamD.H)③吉村守雄(金沢ホープB)HG267清水一也(金沢JクラブC)
 - ▷2部①山田幸雄(倉友クラブD)HG223②寺尾悦子(オデッセイ)③寺尾公男(同)
 - ▷3部①前野茂(金沢JクラブC)HG226②川上秀則(ビッグクラブ)③出口洋征(金沢ホープB)HG226